

平成25年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	(独) 航海訓練所施設整備費補助金		担当部局庁	海事局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	H26/H27		担当課室	海技課船員教育室		室長 大立康祐	
会計区分	一般会計		政策・施策名	9 市場環境の整備、産業の生産性向上、消費者利益の保護 36 海事産業の市場環境整備・活性化及び人材の確保等を図る			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人通則法第46条 (独立行政法人航海訓練所法)		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	船舶職員の資格を取得しようとする学生等に対し、「船員の訓練及び資格証明並びに当直の基準に関する国際条約(STCW条約)」に基づく訓練内容を充足しつつ、一定期間の必要な乗船履歴を付与している業務等を効率的に行うために必要な施設・設備の整備を行っている。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国際条約(STCW条約:船員の訓練及び資格証明並びに当直の基準に関する国際条約)の改正によって強化される訓練に対応するためのシミュレータの整備を図る。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算				45	
		補正予算					
		繰越し等					
	計				45		
	執行額						
執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	訓練に必要なシミュレータの整備であり、成果目標及び成果実績(アウトカム)を定めて実施するという性質のものではない。	成果実績					
		達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	訓練に必要なシミュレータの整備であり、活動指標及び活動実績(アウトプット)を定めて実施するという性質のものではない。	活動実績 (当初見込み)			()	()	()
単位当たりコスト	(円/)	算出根拠					
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	施設整備費	-	45	・操船シミュレータの整備			
	計	-	45				

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	<ul style="list-style-type: none"> ・国際条約(STCW条約:船員の訓練及び資格証明並びに当直の基準に関する国際条約)の改正によって強制化される訓練に対応するためのシミュレータの整備に係る事業であり、広く国民に裨益するものである。 ・独法の施設整備に係る補助であり、国が補助すべき。 		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	<ul style="list-style-type: none"> ・広く国民が裨益する事業であり、国費を支出する必要がある。 ・資金は、製造・施工業者に支出される予定である。 ・費目・用途は施設整備に必要なものに限定されている。 		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	<ul style="list-style-type: none"> ・独法の施設整備を支援するものであり、補助金以外の手段はない。 		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)					
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果						
外部有識者の所見						
-						
行政事業レビュー推進チームの所見						
-	効果的な予算執行の観点から、製造・設置等の実施状況等の管理・監督を適切に行うべきである。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
-						
備考						
-						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年	-	平成23年	-	平成24年	-	-

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

国土交通省
45百万円

船員の航海訓練の一環として、
国際条約の改正に基づく船内の集
団的意思疎通及び危機対応に関
する訓練に必要なシミュレータ導入
の補助



【補助】

A.(独)航海訓練所
45百万円

船員の航海訓練の一環として、
国際条約の改正に基づく船内の集
団的意思疎通及び危機対応に関
する訓練に必要なシミュレータ導入
に必要な施設整備



【一般競争入札】

B.民間事業者
45百万円

シミュレータの製造及び設置

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万
円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

平成25年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	(独)海技教育機構施設整備費補助金	担当部局庁	海事局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	H26/H27	担当課室	海技課船員教育室	室長 大立康祐			
会計区分	一般会計	政策・施策名	9 市場環境の整備、産業の生産性向上、消費者利益の保護 36 海事産業の市場環境整備・活性化及び人材の確保等を図る				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人通則法第46条 (独立行政法人海技教育機構法)	関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	船員(船員であった者及び船員になろうとする者を含む。)に対する船舶の運航に関する学術及び技能を教授すること及びこれらに附帯する業務等を効率的に行うために必要な施設・設備の整備を行っている。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	1. 耐震補強工事 波方海上技術短期大学の学生寮は昭和48年9月に、校舎については昭和43年3月に新営され、その後、平成13年3月の芸予地震により壁や床等に亀裂の損壊を受け、応急的に修繕工事を実施してから10年以上が経過しており、耐震診断の結果、耐震補強工事が必要と判断されたため、実施する。 2. 学生寮の建築工事 学生寮の受入最大員数は40室×4名の160名であるが、このうちの約1割を占める女子を受け入れるための設備がないため、増設工事を実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
		補正予算					18
		繰越し等					
		計					18
	執行額						
	執行率(%)						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	学生寮等の施設整備であり、成果目標及び成果実績(アウトカム)を定めて実施するという性質のものではない。	成果実績					
		達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	学生寮等の施設整備であり、活動指標及び活動実績(アウトプット)を定めて実施するという性質のものではない。	活動実績 (当初見込み)			()	()	()
単位当たりコスト	(円/)	算出根拠					
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	施設整備費補助金	-	18	・波方校学生寮等耐震及び学生寮等建築工事			
	計	-	18				

事業所管部局による点検

項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	・船員(船員であった者及び船員になろうとする者を含む。)に対する船舶の運航に関する学術及び技能を教授すること及びこれらに附帯する業務等を効率的に行うために必要な整備を行う事業であり、広く国民に裨益するものである。また、老朽化した施設の耐震工事を行うものであり、優先度が高い。 ・独法の施設整備に係る補助であり、国が補助すべき。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	・広く国民が裨益する事業であり、国費を支出する必要がある。 ・資金は、施工業者に支出される予定である。 ・費目・用途は施設整備に必要なものに限定されている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○		
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-		
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○		
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	・独法の施設整備を支援するものであり、補助金以外の手段はない。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			
	事業番号	類似事業名		所管府省・部局名
点検結果				

外部有識者の所見

-			
---	--	--	--

行政事業レビュー推進チームの所見

-	効果的な予算執行の観点から、工事の実施状況等の管理・監督を適切に行うべきである。
---	--

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

-	-	-	-	-	-
---	---	---	---	---	---

備考

-					
---	--	--	--	--	--

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年	-	平成23年	-	平成24年	-
-------	---	-------	---	-------	---

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

国土交通省
18百万円

耐震診断の結果、耐震補強工事が必要と診断された施設に関する耐震工事等を実施するための補助。



【補助】

A.(独)海技教育機構
18百万円

耐震診断の結果、耐震補強工事が必要と診断された施設に関する耐震工事等を実施するために必要な施設整備。



【業務委託】

B.四国地方整備局
18百万円

波方校学生寮等耐震及び学生寮等建築工事の実施。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 においてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

平成25年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	新たなエネルギー輸送ルートの上陸体制の確立		担当部局	海事局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	H26/H27		担当課室	海洋・環境政策課 船舶産業課		課長 平原 祐 課長 大坪 新一郎		
会計区分	一般会計		政策・施策名	9 市場環境の整備、産業の生産性向上、消費者利益の保護 36 海事産業の市場環境整備・活性化及び人材の確保等を図る				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	日本再興戦略、海洋基本計画等				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東日本大震災以来の環境・エネルギー制約を克服し、クリーンで経済的なエネルギーの安定供給を図る。また、我が国造船業・経済の発展、雇用の確保・拡大を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	シェールガス革命や水素の需要拡大に対応し、新たなエネルギー輸送ルートにおける安全かつ効率的な輸入を可能とする海上輸送体制を確立し、今後拡大が見込まれる次世代LNG運搬船等の世界市場の獲得のため、我が国事業者による世界に先駆けた取組みを推進する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算						
		繰越し等						
		計					740	
	執行額						740	
	執行率 (%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	新たなエネルギーの海上輸送に係る体制の確立を目的とした事業であり、成果指標及び成果実績(アウトカム)を定めて実施するという性質のものではない。		成果実績					
			達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	新たなエネルギーの海上輸送に係る体制の確立を目的とした事業であり、活動指標及び活動実績(アウトプット)を定めて実施するという性質のものではない。		活動実績 (当初見込み)			()	()	()
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠					
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	-	1	「新しい日本のための優先課題推進枠」740				
	職員旅費	-	6					
	委員等旅費	-	1					
	海事産業市場整備等推進調査費	-	732					
計	-	740						

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	クリーンかつ経済的なエネルギー需給の実現にも寄与するとともに、船舶の安全・環境に関する基準を定めることから国の関与が不可欠。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	費目・使途を事業目的の達成のために真に必要なものに限定している。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果						
外部有識者の所見						
-						
行政事業レビュー推進チームの所見						
-	経済・地域の活性化の中で、特に国際競争力強化の観点から優先度の高い事業であり、効果的な施策として効率的に執行できるよう努めるべき					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
-						
備考						
-						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	-	平成23年	-	平成24年	-

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

国土交通省
740百万円

職員旅費、委員等旅費、謝金
8百万円

〔新たなエネルギー輸送ルートに関する海上輸送体制の確立のために必要な調査等を実施〕



【公募・委託】

民間企業等
732百万円

〔新航路等における各種要件の調査及び安全要件の検討等〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
a					
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

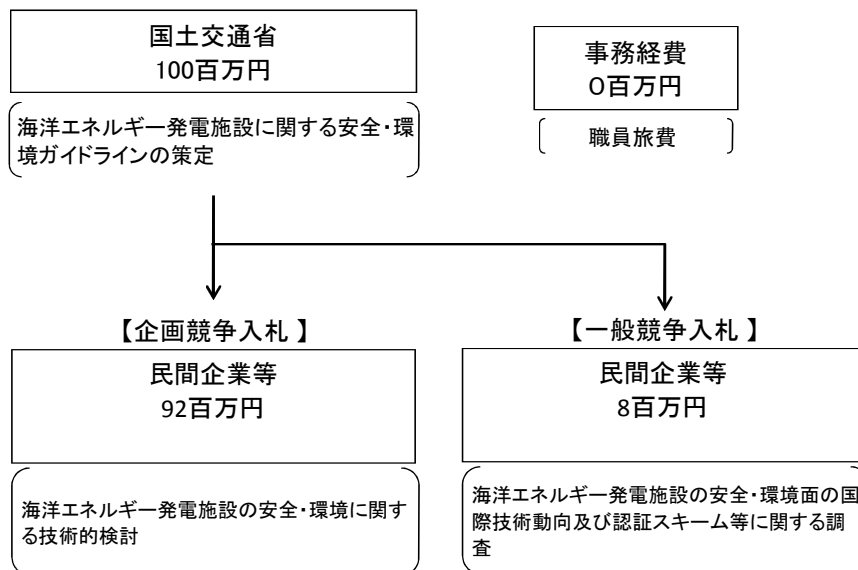
	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

平成25年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	海洋エネルギーの活用促進のための安全・環境対策		担当部局庁	海事局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	H26/H28		担当課室	海洋・環境政策課		平原 祐	
会計区分	一般会計		政策・施策名	9 市場環境の整備、産業の生産性向上、消費者利益の保護 36 海事産業の市場環境整備・活性化及び人材の確保等を図る			
根拠法令(具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	海洋基本計画			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3程度以内)	日本周辺の海洋エネルギー(波力、潮流等)の豊富なポテンシャルを踏まえ、海洋エネルギーの活用を促進するために浮体式等発電施設の安全・環境対策を図る。						
事業概要(5程度以内。別添可)	海洋エネルギー発電施設を洋上・海中という厳しい自然環境において安全に稼働させるとともに、油流出等海洋環境汚染を防止するため、必要となる浮体・係留設備等に係る安全面及び環境面に関する技術的検討を実施し、設計手法の指針である安全ガイドラインを策定。 具体的検討課題は次のとおり。 ○係留技術(動揺分析、疲労破壊や津波への対応) ○非常時への対応(浸水、破損時における復原性・浮遊性確保) ○海洋汚染防止対策(油等流出防止対策)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
		補正予算					
		繰越し等					
		計					100
	執行額						
	執行率(%)						
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	・本事業は、海洋エネルギー発電施設を安全・環境面を担保しつつ稼働させるため、必要な技術的検討等を実施の上、安全・環境ガイドラインを策定するものであり、事業の実施の成果を数値で定量的に示すことは困難である。		成果実績				
			達成度	%			
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	・本事業は、海洋エネルギー発電施設を安全・環境面を担保しつつ稼働させるため、必要な技術的検討等を実施の上、安全・環境ガイドラインを策定するものであり、事業の活動内容を数値で定量的に示すことは困難である。		活動実績(当初見込み)		()	()	()
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	技術研究開発委託費	-	92	「新しい日本のための優先課題推進枠」100			
	技術研究開発調査費	-	8				
	技術研究開発調査旅費	-	0				
計	-	100					

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、海洋エネルギー発電施設を安全・環境面を担保しつつ稼働させるため、施設が満たすべき要件をガイドラインとしてとりまとめるもの。 ・安全・環境に関する基準等は、国民の生命・財産を保護するためのものであることから、国が一義的に策定する必要がある。 ・日本再興戦略(H25.6)の戦略市場創造プランロードマップにおいて「波力、潮流等の海洋エネルギーについては、技術開発、実証フィールドの整備・実証実験の開始等を通じ、商業化を支援」とされている。 	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		-		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果					
外部有識者の所見					
-					
行政事業レビュー推進チームの所見					
-	<p>経済・地域の活性化の中で、特に再生可能エネルギーの拡大の観点から優先度の高い事業であり、効果的な施策として効率的に執行できるよう努めるべき</p>				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
-					
備考					
-					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	-	平成23年	-	平成24年	-

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
a					
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					